
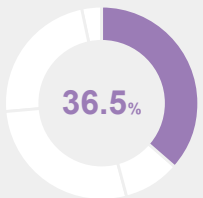


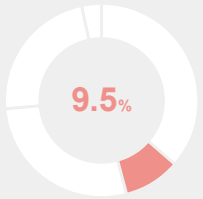
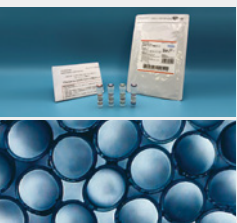

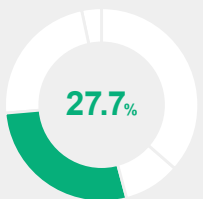


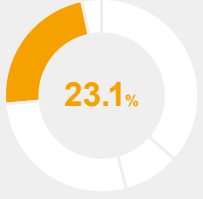


# 事業別概況

		連結売上高構成比	売上高・営業利益(億円)	主な用途	製品例
<b>フィルム</b> 	<p>工業用フィルム事業と包装用フィルム事業の2分野で構成。工業用は、液晶偏光子用、ディスプレイ用、合成紙、ラベル、セラミックコンデンサ用など。包装用は、食品包装を中心に、多機能フィルムを展開し、国内でトップクラスのシェアを保持。</p>	 <p>36.5%</p>	<p>売上高 <b>1,461</b></p> <p>営業利益 <b>16</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●工業用フィルム</li> <li>●包装用フィルム</li> </ul>	
<b>ライフサイエンス</b> 	<p>バイオ事業、メディカル事業、医薬受託事業の3分野で構成。バイオ事業は、臨床検査に関わる原料酵素、診断(試)薬、診断システムなど。メディカル事業は、透析膜など治療に関わるマテリアルなど。医薬受託事業は、医薬品の受託製造。</p> <p>PCR検査の判断時間を従来の1/2に短縮した診断システムや人工腎臓用中空糸膜など、独自技術による高付加価値製品を保有。</p>	 <p>9.5%</p>	<p>売上高 <b>381</b></p> <p>営業利益 <b>92</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●バイオ関連製品</li> <li>●化粧品原料</li> <li>●医療用分離膜・モジュール</li> <li>●医療機器</li> <li>●医薬品関連</li> </ul>	
<b>環境・機能材</b> 	<p>2023年4月、三菱商事(株)との合併会社、東洋紡エムシー(株)としてスタート。樹脂・ケミカル、環境・ファイバーの2分野で構成。新会社に移行した事業は、「バイロン®」、「ハードレン®」、光機能材料、ファインケミカル、エンジニアリングプラスチック、アクア膜、VOC処理装置、機能フィルター、スパンボンド、生活資材、スーパー繊維など。</p>	 <p>27.7%</p>	<p>売上高 <b>1,108</b></p> <p>営業利益 <b>40</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●接着・コーティング剤</li> <li>●エンジニアリングプラスチック</li> <li>●エラストマー</li> <li>●海水淡水化膜・モジュール</li> <li>●環境ソリューション装置・フィルター</li> <li>●高機能ファイバー</li> <li>●生活資材</li> </ul>	
<b>機能繊維・商事</b> 	<p>エアバッグ事業、機能繊維事業、衣料用繊維事業、商社機能(東洋紡STC(株))で構成。海外展開として、エアバッグは、タイ・中国・米国の3極体制。繊維事業は、東南アジア・中国・インドなど、グローバルに事業展開中。</p>	 <p>23.1%</p>	<p>売上高 <b>924</b></p> <p>営業利益 <b>▲25</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●エアバッグ用基布・原糸</li> <li>●スポーツ・インナー・ユニフォーム・その他衣料</li> </ul>	